

福島県退職教職員協議会 会報 1月号

◇竹中新会長新年のあいさつ

2026年1月発行責任者 竹中柳一

新年のごあいさつ



竹中柳一
県退教協会長

あけましておめでとうございませう。今年も会員の皆様にとつて幸多い年となることを願っております。2025年度の定期大会で浦井前会長に変わって、新しい退教協の会長に選出されました。年齢もあり、なるべく早く次の世代の方にバトンタッチしたいと考えている次第です。2012年から県教組の関連団体である弘済会福島支部や(株)福島教弘に通勤しながら、食品放射線測定室の運営や退教協の会計、会報の発行等の取り組みに携わってきました。現在の事務局は私より10歳以上は若いので、新しい発想で県の活動や支

部の活動を充実したものにしてくれるものと期待しています。

最近印象に残ったこと

◆事実として共有したいと思います

① 12月9日11時の北海道青森を中心とした地震と津波についてのフェイク動画が拡散した。↓関東大震災の時の朝鮮人に対する集団殺人のきっかけがデマだった(井戸に毒を入れた等)。

○この時の朝鮮人犠牲者の慰霊塔が両国の横網町公園にある。小池知事になってからの追悼式典に追悼文は送らなくなつた。また慰霊堂にある紹介のビデオにも慰霊塔への言及はない。(以前はあったのかは不明)

② 防衛予算の前倒し→トランプ大統領へのごますり?

③ 「国旗損壊罪」の創設
・自民、維新、参政党が前向き
スパイ防止法の検討

④ 2020年5月 国家安全法が香港に適用
○香港では2019年に人口の7分の1にあたる200万人のデモ(主催者発表)があった。
現在は「愛国者」以外は選挙の時候補者にすらなることができない。野党の解散。



2025 年 11 月 20 日、「フォーラム平和・人権・環境」が「高市政権発足から 1 か月、この間の政策を問う」声明を発表しました。高市政権の危うさが適切にまとめられていますので、一部省略して掲載いたします。(字が小さくなってごめんなさい)

2025 年 10 月 21 日、自民党の高市早苗総裁が第 104 代首相に就任した。発足して 1 か月、各種世論調査によると高い支持率が示されているものの、高市首相がこれまで訴えてきた政策は保守強硬派とも言われる内容であり、その具現化がどれだけ進むのか、多くの市民から不安の声が聞かれていることも事実である。

(中略・高市首相の「台湾有事」発言についての経緯) 日本政府には、憲法理念に基づく平和外交への努力を求めながら、日中関係は日中共同声明と日中平和友好条約に立ち返り、正常化することが望まれる。

11 月 14 日には、国家安全保障戦略など安保関連 3 文書の改定に向け、「非核三原則」の見直しを与党内で開始させる検討に入ったことが明らかになった。80 年前の広島・長崎の被爆の実相を原点に、これまで核兵器廃絶と世界平和の実現を願い、国内はもとより、世界各国で凄惨な被爆の実相を語り、「核の非人道性」を国際的に確立させてきた被爆者からは、即座に抗議の声があがった。日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)からも「非核三原則」の堅持、法制化を強く求める声明が発表された。国際的にも ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が、「広島と長崎の被爆者の声を聞くべきだ」としたうえで、「非核三原則」の見直しを非難する声明を発表している。被爆 80 年を迎えた今年、核兵器廃絶に向けた日本社会の機運をより一層高め、2026 年に開催予定の核不拡散条約(NPT)と核兵器禁止条約(TPNW)両再検討会議につなげる形で、国際社会全体の核兵器廃絶への歩みを一層強固にすることにこそ、日本政府は注力すべきではないか。戦争による被爆を経験し、国連総会本会議に核兵器廃絶決議案を出しながら、一方では「非核三原則」を見直し、「核抑止」を前提とした安全保障に頼る日本政府の方針に、国際社会から信頼と納得が得られるとは到底考えられない。

他にも、「防衛費のさらなる引き上げ」、「スパイ防止法」、「武器輸出 5 類型」の撤廃や「選択的夫婦別姓制度」の否定など、懸念される方針は枚挙にいとまがない。グローバル化が進む今日、多文化共生社会を後退させる政策や方針に強い懸念も抱かざるを得ない。今、迅速にとりくむべき政策課題は、賃上げが追いつかず物価高に苦しむ市民の生活改善に向けた内容であり、個々人の人権を尊重した政策の実現であるはずだ。

私たちはこれまで訴えてきた、武力ではなく対話による平和外交をおし進め、生活改善と人権尊重につながる政策実現を求めるとともに、核兵器廃絶の実現に向けた歩みをより強固にするようとりくんでいく。戦後 80 年・被爆 80 年、これまで紡いできた平和を希求する市民の声を、一層高めていくことを決意し、高市政権発足 1 か月にあたっての平和フォーラム声明とする。

2025 年 11 月 20 日 フォーラム平和・人権・環境

マイナ保険証 切り替えの混迷

現在（2025年12月末）使える健康保険証と代替物

- ① マイナ保険証
- ② 資格確認書（それぞれ有効期限に注意）
- ③ 有効期限が切れた健康保険証（2026年3月末まで）
- ④ 資格情報のお知らせ（2026年3月末まで）

2025年12月1日をもって、従来の紙やプラスチックの健康保険証は使えなくなった「はず」でした。すでに2024年12月2日から新規発行は停止されており、政府はマイナナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」への移行を進めています。しかし、実際は移行が完了しているとは言い難い状況にあります。

従来の健康保

険証の廃止を強

行したのは、岸田

政権のもとで進

められた政府の

デジタル化政策です。2023年、

改正マイナバー法が成立し、

健康保険証とマイナナンバーカ

ードの一体化が法制化されま

した。

国は当初、マイナカードの

作成はもとより、保険証機能

を付けるかどうか『任意』と

していました。ところが2022年

10月、岸田文雄政権でデジタ

ル担当相だった河野太郎氏が、

厚労省の審議会の議論を経ず

に突然、紙の保険証の廃止を

表明。現在に至るまで、デジタ

ル庁が主導するマイナ事業を

厚労省が尻拭いする構図が混

乱を招いています。

マイナ保険証をめぐる混乱

は、今後数年間にわたり続く

だろうと指摘する識者もいま

す。国民の利便性を重視して、

期間限定の暫定措置での対応

ではなく、健康保険証をこれ

からも使えるようにし、マイ

ナ保険証と併用すれば簡単に

解決する問題なのですが。

マイナナンバーカードは、コ

ロナ禍の2020年9月に始ま

ったマイナポイント事業で、

ポイント目当てに登録者が急

増しました。カード自体の普

及率は人口の8割、カードに

保険証機能を付けた人は7

割に達しました。しかし、誤登

録による情報流出などが発生

し、登録解除も相次ぐなど、

10月時点で実際の利用率は

約37%に留まっています。

マイナ保険証の利用率が低
迷し、トラブルや誤登録も相
次いでいたにもかかわらず、
スケジュールの維持を優先し
たことが大きな原因のひとつ
です。本来、医療制度は誰もが
安心して使えるものであるべ
きなのに、今回の廃止は「国民
不在の改革」とも言える強引
な進め方でした。

しばるくは、クマにびく用心!!

2025年後半は、県内全域でクマ出没の危険と向き合わざるを得ない状況となりました。

抜本的な対策が講じられるまでは、森の木の実の豊作・不作にかかわらず、しばらくはクマ遭遇のリスクを想定しなければなりませんと思われる。

そこで、今回はクマの生態についてまとめてみました。参考にしたのは、ユーチューブの学者インタビュー番組です。主に次の3人の話を参考にしました。

山崎晃司教授（東京農業大）
坪田敏男教授（北海道大）
横山真弓教授（兵庫県立大）

<ツキノワグマ>

◆生息数

4.2万頭以上

調査は都道府県単位
で未実施もあり推定

◆体長

120～150cm

◆体重

40～120kg

◆知能

イヌよりも高くサルよりは低い

◆学習能力

- ・食べたもの、嗅いだもの、自ら経験したことを記憶する
- ・目は悪い
- ・人間の行動を観察し記憶
- ・ごみ収集の曜日・時間を覚え行動する個体も

◆性格

臆病で用心深い

食べ物に強い執着

◆運動能力

時速40～50kmで走る

- ・人間の最速走力を100m10秒とすると時速36kmです

泳ぎは得意

- ・ヒグマで20km泳ぐのを確認

◆人身被害の深刻性

ツキノワグマはヒグマに比べて体が小さく、被害を受けた場合の致死率は数%とされています。しかし、人間を襲う場合、頭部や顔面を攻撃することが多く、重症率は40%以上です。

体長が1m以下の個体は小さく感じるかもしれませんが、腕力が強く、木登りを簡単にできる爪が長く鋭く、大きな口には牙まであります。特に、顔にダメージを受けると、目・鼻・耳などの感覚器官が修復不可能な状態になる可能性が高くなります。接触は絶対に避けなければなりません。

◆アーバンベア

本来山に住むクマが、市街地周辺まで降りてきて生息・出没するようになった、「都市型」のクマを「アーバンベア」と呼んでいます。成長過程での経験から、人間を恐れません。庭の柿の実を食べたり、住宅に侵入したり

するなど、人里に慣れて警戒心が薄いのの特徴で、人身被害が増加する原因となっています。

◆クマ被害を防ぐには

クマの人身被害を防ぐ一番の方法は「遭遇しない」ことです。（知床のビジターセンターでもこう言っていました）

そうはいつても、極端に外出を控えたり、散歩を自粛したりしては、「コロナ渦」中の引きこもり状態と同様、心身に悪影響を及ぼします。提案されている予防策、対処法を紹介します。

・クマ鈴、ラジオ等での音出しは有効。

・夜間や早朝の活動は避ける。

・クマの出没情報に留意する。

遭遇してしまつたら
・あわてず、あとずさりして離れる。

・熊スプレーの携帯（有効です）

現在、国産品は入手困難。米国「EPA」（米国環境保護庁）登録の商品は信頼性が高い。

（価格は一万円程度）